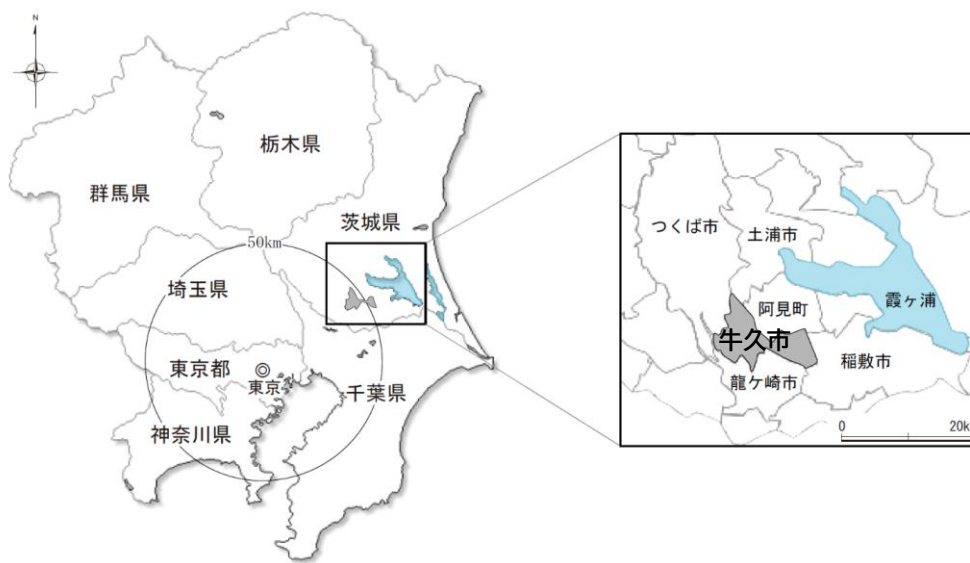


## 第3章 牛久市の現況

### 3.1 位置と面積

本市は、茨城県の南部、首都中央部から北東約50kmに位置し、県庁所在地である水戸市へは北へ約50kmを要します。

周辺は、北側で土浦市・阿見町、東側で稲敷市、南側で龍ヶ崎市、西側でつくば市とそれぞれ隣接しています。



本市の面積は58.92km<sup>2</sup>で、大部分は関東ローム層に覆われ平均海拔が概ね20m前後のなだらかな「稲敷台地」によって構成されています。

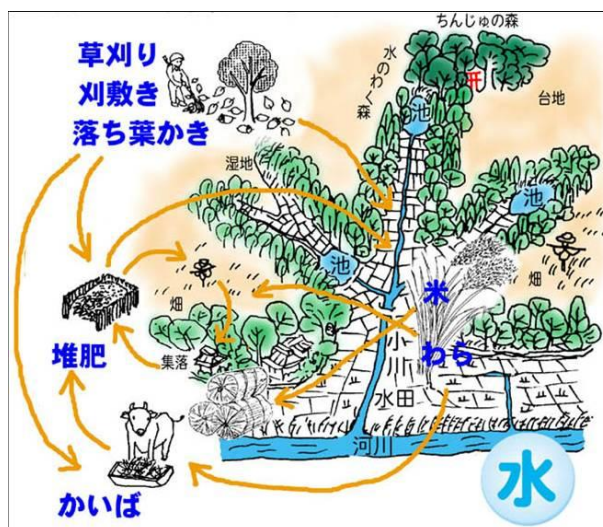
市域を西から東へ横断するように流れて霞ヶ浦へ注ぐ小野川の水系や市域の南西部において牛久沼へ注ぐ稲荷川の水系は、なだらかな台地に樹枝状に入り組み侵食し、谷状の地形となって細長い低湿地の「谷津」を形成しています。谷津は水田として人々の生活に大きく関わるとともに、豊かな生態系を育む場所として重要な役割を果たしています。

【牛久市の地形図】



出典：国土地理院地図から作成

【谷津の様子】



出典：NPO 法人アサザ基金ホームページ

第1章

第2章

第3章

第4章

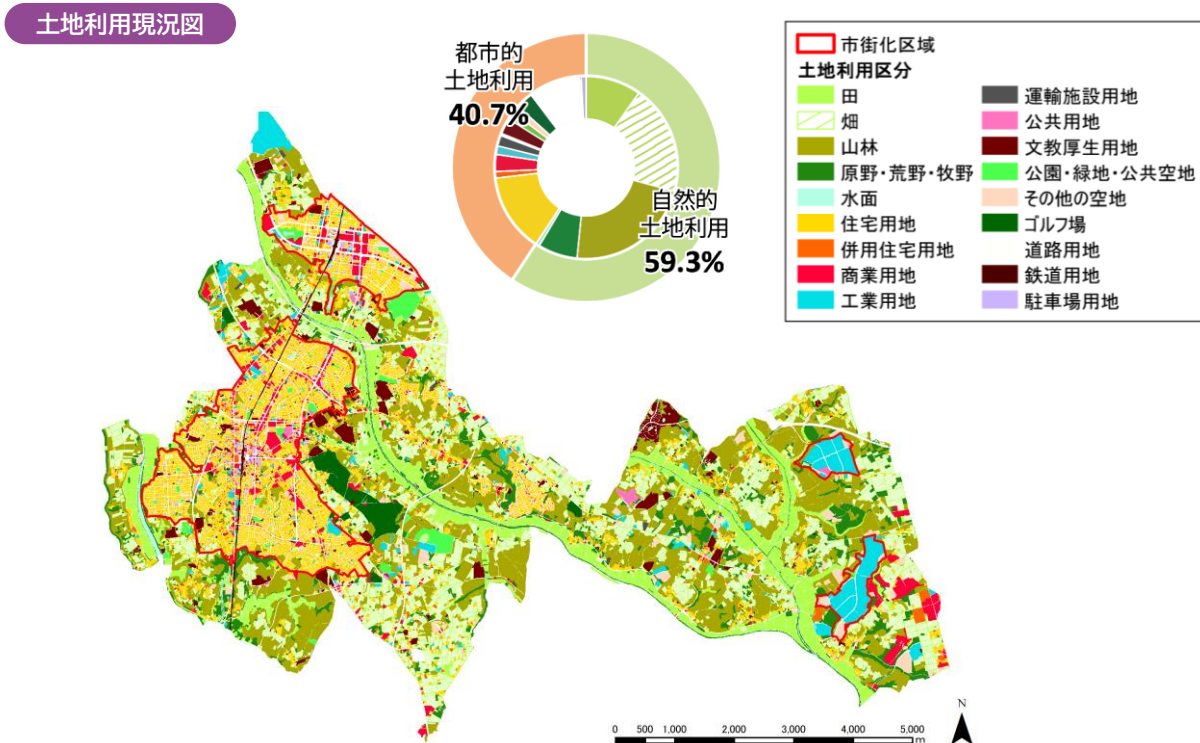
第5章

牛久市地球温暖化対策  
実行計画

資料編

## 3.2 土地利用の状況

本市の土地利用は、2015(平成27)年度都市計画基礎調査によると、農地・山林等の自然的土地利用が約60%で、住宅用地・道路用地等の都市的土地利用が約40%となっています。

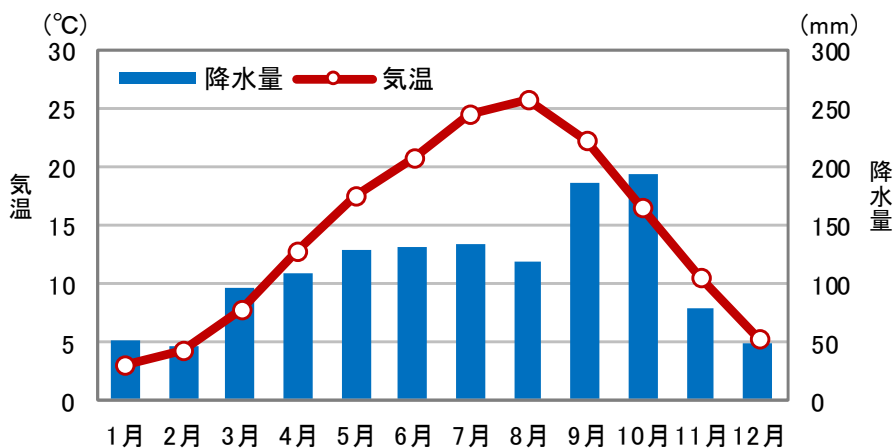


出典:牛久市都市計画マスタープラン

## 3.3 気候

本市の気候は、冬は晴天が多く乾燥し、夏は湿潤で暑く、梅雨や台風による降水が多い東日本型の太平洋岸式気候です。本市に近いつくば(館野)観測局における平年値(1991(平成3)年~2020(令和2)年の30年間の平均値)における月ごとの気温及び降水量は下記のグラフの通りとなり、平年値における年平均気温は約14.9℃、年間降水量は1,326mmとなっています。

【つくば観測局の平年値(1991年~2020年)】



出典:気象庁 つくば(館野)気象データから作成

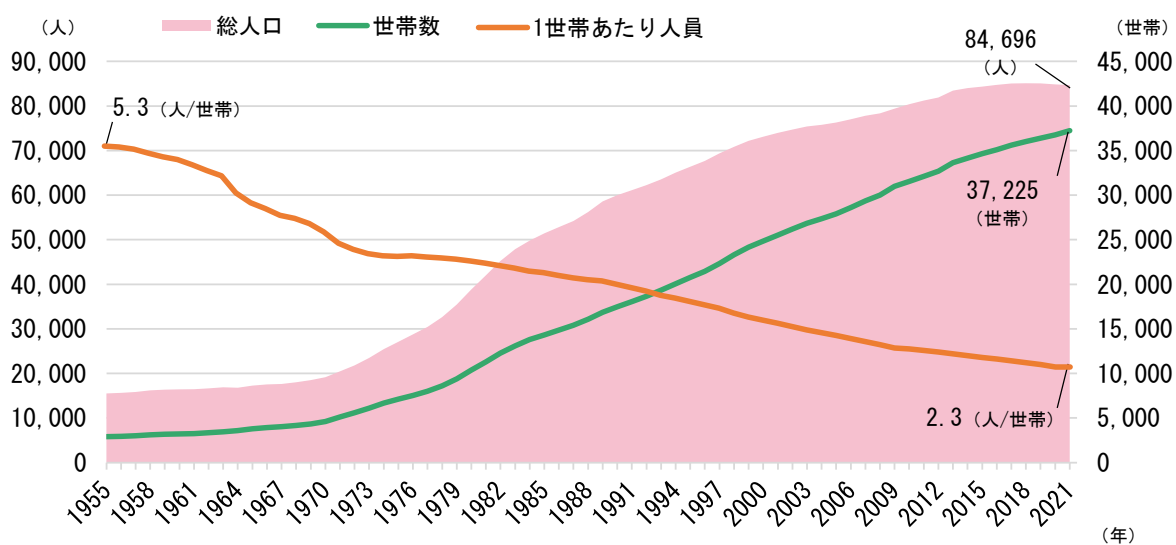
## 3.4 人口の状況

本市の人口は市制が施行された1986(昭和61)年に総人口 50,000 人を超え、その後も増加が続き、2016(平成28)年には85,000人を超えましたが、2017(平成29)年をピークに減少に転じ、2021(令和3)年4月の総人口は84,696人となっています。

世帯数は単独世帯や核家族世帯の増加により一貫して増加傾向にあり、2021(令和3)年4月では37,225世帯となっています。

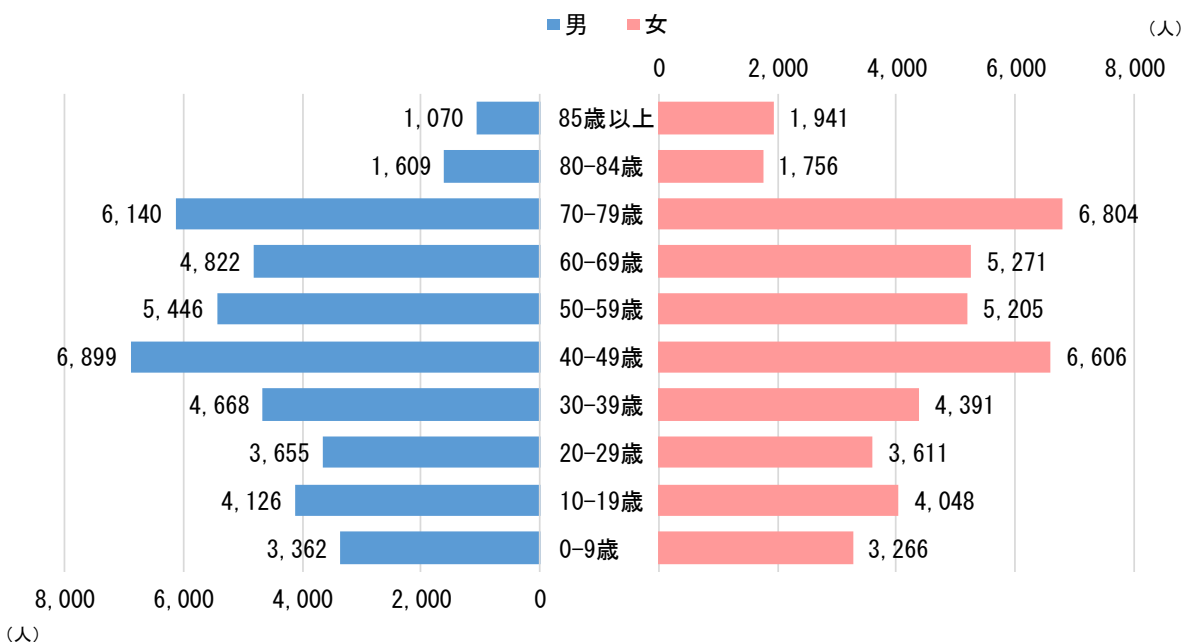
年齢階層別人口を見ると、70歳代及びその子ども世代である40歳代の人口が多いことがわかります。

【総人口と世帯数の推移】



各年4月1日現在  
出典:住民基本台帳

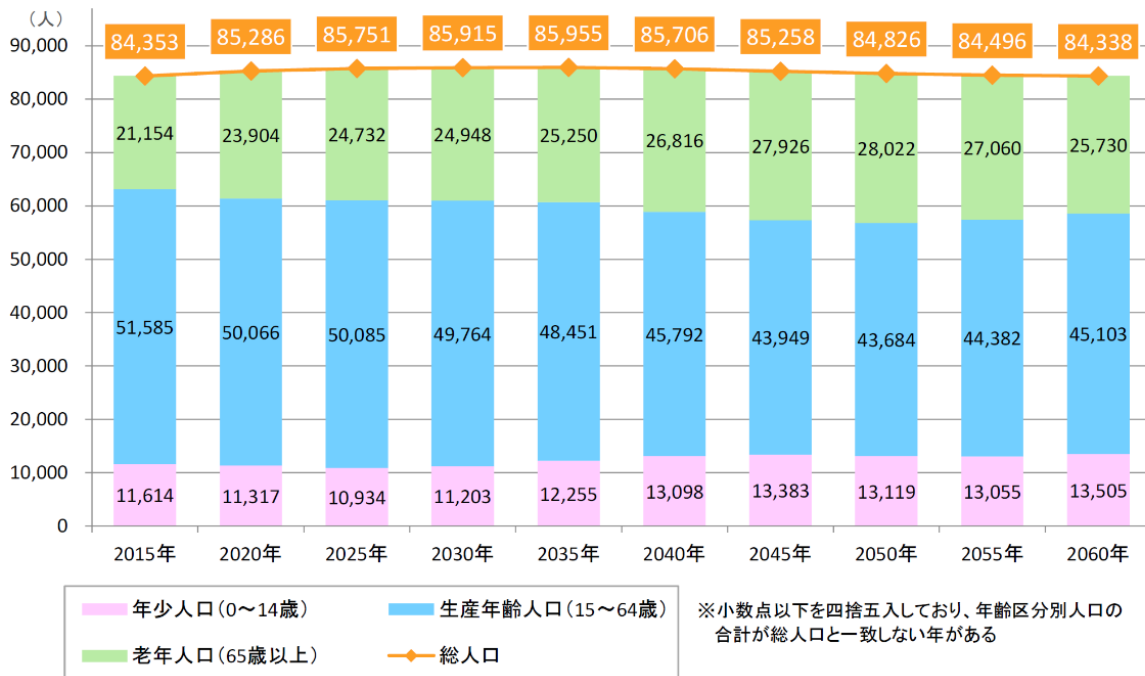
【年齢階層(10歳階級)別人口】



2021(令和3)年4月1日現在  
出典:住民基本台帳

2015(平成27)年度に策定した「牛久市人口ビジョン」において、将来人口について合計特殊出生率※2.1の達成及び転入増加により、「2060(令和42)年に総人口8万4千人を目指す」としています。  
※合計特殊出生率…15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

【将来人口】

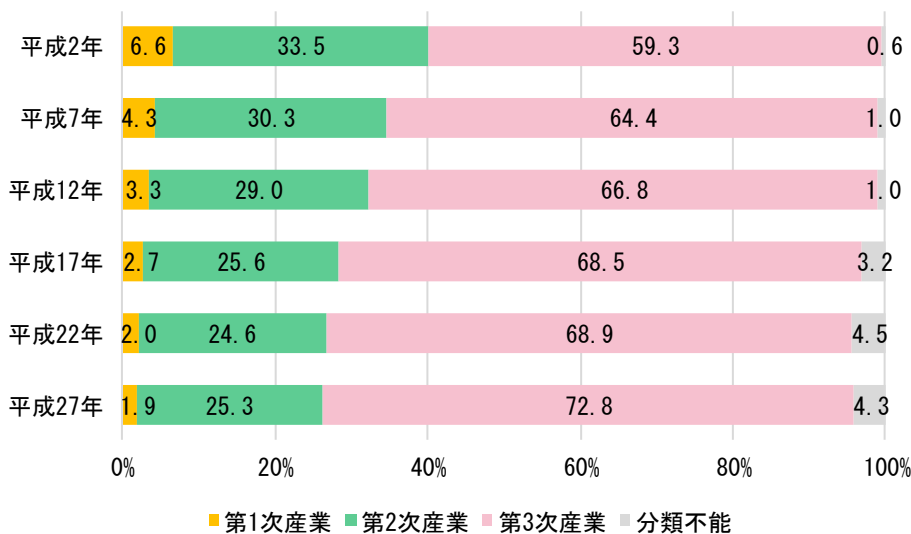


出典:牛久市人口ビジョン

### 3.5 産業の状況

本市の産業別就業者の構成を見ると、サービス業などの第3次産業の割合が最も大きく、次いで製造業・建設業などの第2次産業、農業・林業・漁業などの第1次産業の順となっています。経年変化で見ると、第1次産業の割合が年々小さくなっており、第3次産業の割合が大きくなっています。

【産業別就業者の構成比】



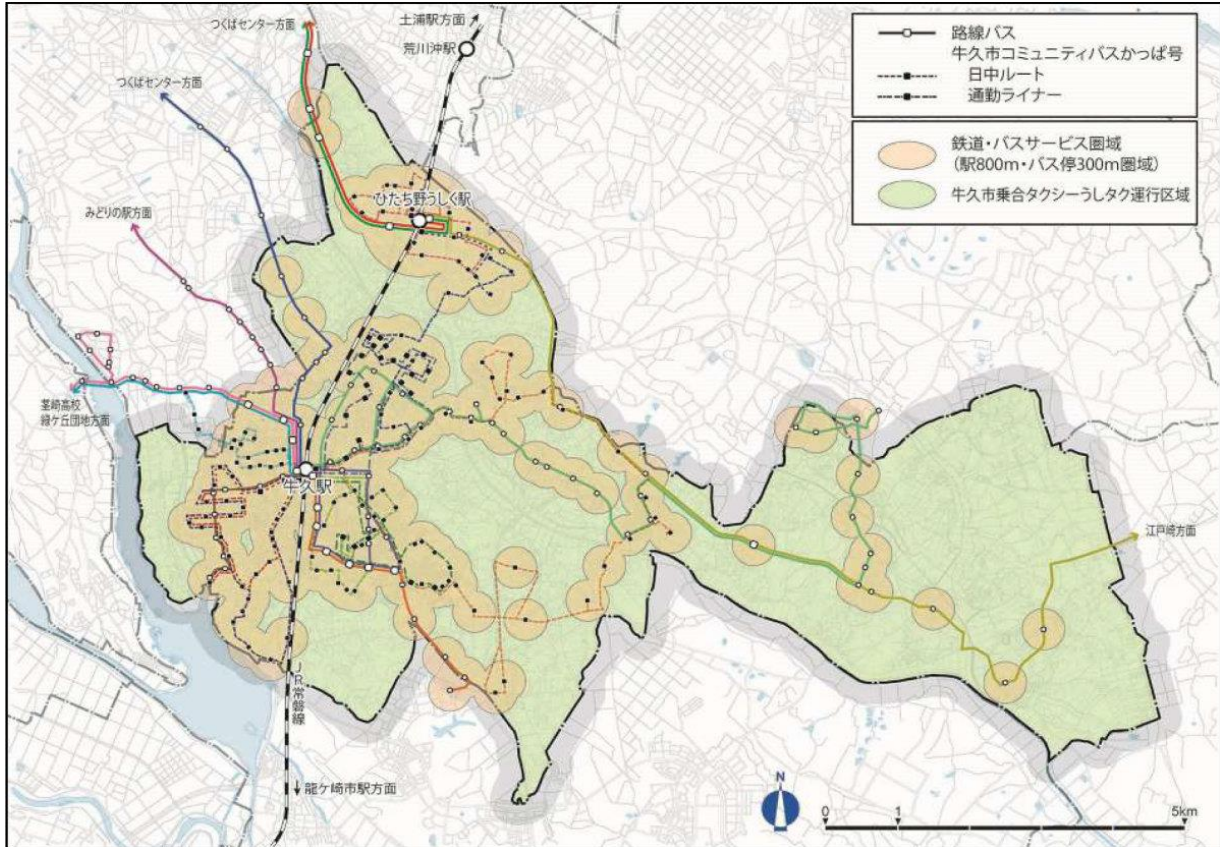
出典:国勢調査



## 3.6 交通の状況

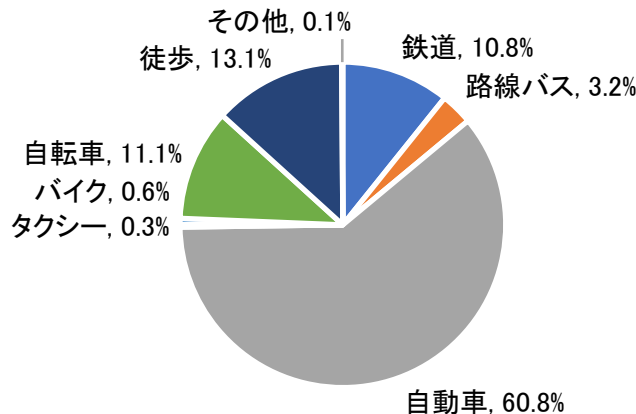
本市は、市域の西側において南北に JR 常磐線が位置し、牛久駅及びひたち野うしく駅の2駅が、都心部等への移動拠点となっています。また、これらの駅を起終点として路線バスが運行しており、その一部はつくば方面への移動を担っています。そのほか、市街地と住宅地とを結ぶコミュニティバスや予約・乗合制のデマンド交通が運行されており、市の全域に公共交通サービスが提供されています。なお、市内を発着する移動は、約 6 割が自動車に依存している状況にあります。

### 【本市の公共交通サービスでカバーされる範囲】



出典:牛久市地域公共交通計画

### 【本市を発着する移動のうち各交通手段の占める割合】



出典:2018(平成30)年度東京都圏パーソントリップ調査(代表交通手段別発生集中量)